

汚染底質上の薄層覆砂技術

「スラリー式ブラインド覆砂工法」

車田 佳範, 池田 省三, 守屋 典昭

Development of a new Sand Covering Method for Polluted Sediment

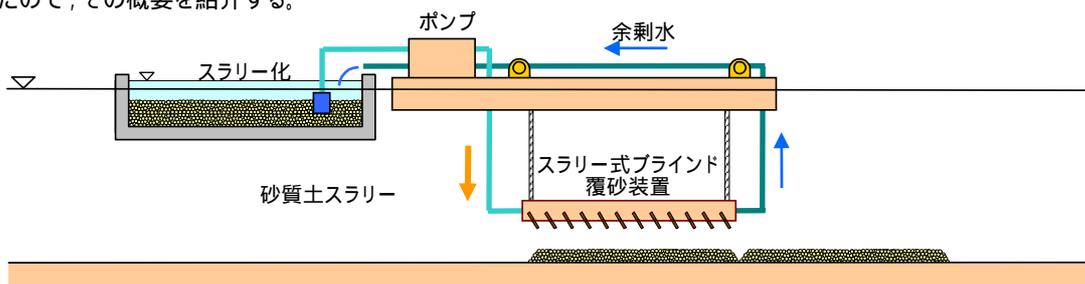
「Slurry-Blind Method」

Yoshinori Kurumada, Syozo Ikeda and Noriaki Motiya

要 旨

近年, 栄養塩類や重金属, ダイオキシン類などによる底質の汚染が問題になっている. 特にダイオキシン類においては, 昨年に底質環境基準値が定められており, 覆砂による原位置封じ込めが有効な対策手法のひとつとして取り上げられている. これら底質の環境浄化を目的とした覆砂施工においては, 覆砂時の濁りの発生を極力抑えるとともに, 薄層均一厚さで確実に汚染底質を覆うことが必要である. また他にも, 処分場の建設時には, 遮水材と廃棄物間の緩衝剤としての薄層覆砂技術が要求されるようになってきている.

このたび, 薄層かつ高精度での覆砂施工を可能とした新しい覆砂技術「スラリー式ブラインド覆砂工法」を開発したので, その概要を紹介する.



工法概要図



覆砂状況 (模型実験)